

## シンポジウム

# 英語教育とコーパス —問題解決型学習と自律した英語使用のためのコーパス利用—

梅 咲 敦 子  
(立命館大学)

## 1. コーパスを英語教育に導入する意義

近年さまざまなコーパスが構築され、使いやすい検索ソフトが開発されたおかげで、コーパスは簡単に誰にでも利用できるようになった。2000年代に入りBritish National Corpus (BNC: 1億語) がCD-ROM版で全世界に公開され、2003年9月には、PCの専門知識や技術なしに本格的な検索のできる、小学館コーパスネットワーク (SCN) のサービスが開始された。大規模コーパスと検索システムの構築は進歩を続けている。今やコーパスをいわゆる一般の英語教育にも導入できる環境が整ったといえる。コーパス検索には、連語・定型句・共起語・成句などと呼ばれる、意味のある高頻度の語の繋がりや、文法規則、レジスターごとの特徴を、用例や高頻度語リストの形式でPC画面に提示できる利点がある。

英語教育の究極の目標は、学習者が自分で必要な英語のコミュニケーションがとれるようになることであり、そのために、学習者は、指導者がいなくても、英語使用の際に生じる疑問を解決する方法を身につける必要がある。辞書や文法書とともにコーパスを使えば、英語非母語話者でも、特定の表現が実際によく使われるかどうかを自身の目で確認し、自分で疑問を解決できるであろう。問題解決型学習のための実証的資料として、コーパスは英語教育において大きな可能性を秘めている。筆者は、これまでBNC (SCNでの検索) を直接的 (教室で学習者が実際にコーパス検索を行う場合)、間接的 (教師がコーパスを利用して作成した教材やコーパスの検索結果を教室で使用する場合) に英語教育に導入してきた。その実践の一端を紹介し、コーパスの英語教育における有用性を主張したい。

## 2. 実践例

### 2.1 前置詞のイメージ: 名詞に続く前置詞over, on, to (梅咲2005、2007)

前置詞の習得には、コーパス検索によって前置詞に先行する高頻度の名詞を列挙し、その名詞の特徴から前置詞の意味をイメージとして捉え知識を内在化させることができる。例えば、“The Liberal Democratic Party won a landslide victory (over, on, to) the Democratic Party in the 2005 general election.” の括弧内の前置詞を選択させるクイズを出す。次に、BNCからover, on, toごとにその直前に使用される名詞を抽出させると、表1のような共起する頻度順 (頻度順や統計値順) リストが得られる。結果から、各前置詞に先行する名詞には特徴がみられる。すなわち、(1) overはcontrol, win victory, precedenceのように、一方の他方に対する優位性を示す名詞、(2) onはemphasis, impact, effectのような、一方が他方に及ぼす影響を示す名詞、(3) toはaccess, approach, visitのような一方から他方への距離的接近を示す名詞とそれぞれ共起する傾向のあることが実証的に分かる。さらに、それらの名詞のイメージは、図1に示す前置詞のイメージと合致する。

表1 over, on, toに先行する名詞の高頻度順リスト (統計値LogLogスコアによる)

over		on		to	
3) control	73.75 (1743)	5) emphasis	70.19 (2354)	access	76.03 (5591)
4) win	72.76 (439)	3) reliance	61.98 (550)	visit	67.07 (3270)
3) victory	72.31 (707)	7) ban	60.35 (949)	reference	65.17 (3098)
1) precedence	68.49 (157)	6) attack	58.19 (1789)	commitment	63.98 (2399)
3) controversy	63.03 (273)	5) impact	57.81 (1735)	tribute	63.97 (1028)
5) concern	53.69 (428)	3) restrictions	57.27 (895)	attention	62.06 (3983)
3) dispute	52.31 (210)	9) attacks	56.23 (922)	contribution	61.14 (2049)
3) influence	47.78 (289)	1) dependence	56.02 (527)	response	58.81 (2828)
3) debate	47.05 (259)	9) effect	55.48 (3408)	approach	56.98 (3406)
3) row	46.90 (205)	0) bearing	54.99 (345)	rise	56.14 (2019)
3) disagreement	44.73 (74)	9) grip	50.27 (458)	adherence	55.84 (324)
3) advantage	44.48 (233)	9) insistence	49.51 (298)	references	55.73 (869)
1) jurisdiction	44.31 (111)	0) pressure	48.44 (1580)	thanks	55.73 (1764)
3) sovereignty	43.70 (86)	8) influence	48.12 (1175)	resemblance	54.51 (420)
3) veto	40.54 (44)	8) referendum	47.67 (383)	recourse	54.33 (345)
1) advantages	40.35 (113)	9) assault	46.30 (459)	trip	53.68 (1318)
1) bridge	40.14 (181)	2) crackdown	46.09 (142)	alternative	53.33 (1114)
7) confusion	40.09 (109)	6) moratorium	45.72 (117)		
7) superiority	39.90 (56)	0) views	45.67 (998)		
3) victories	39.57 (51)	6) advice	45.47 (1254)		



(over)



(on)



(to)

図1 前置詞のイメージ

## 2.2 形容詞の配列順: a beautiful young womanかa young beautiful womanか(梅咲2006)

BNCにa beautiful young womanとa young beautiful womanが何度出現するかを検索すると、図2の通り、前者は15回、後者は0回である。コーパスを検索すれば、英語は名詞を修飾する形容詞の配列順に自由度の少ない言語であることが実証的に示すことができる。

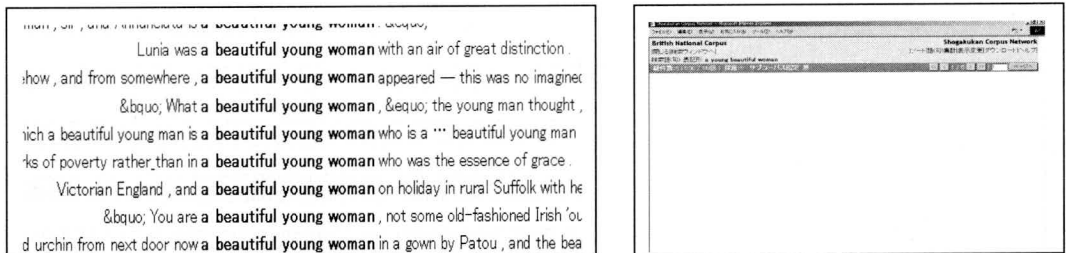


図2 a beautiful young womanとa young beautiful womanの検索結果

## 2.3 連語の意味理解: if only because (梅咲 2007)

辞書に記載がないか、辞書の記述だけでは理解できない表現は、コーパスの用例を見て意味を考える。例えば、(1)のif only becauseが分かり難いとする。BNCを検索すると139回出現することから、一般的な表現で、習得する必要があると判断できる。BNCの用例(2)(3)とonly becauseの例(4)(5)を比較してみると、if only becauseは「(他にもっとまともな理由があろうが、述べられている)理由だけでも、～からでしかなくても」を示すのに対し、only becauseは「(当然の理由であり)その理由だけで」を示すことが分かる。

- (1) ... But she has enough saved to get by, and so although she's past what most folks call retirement age, she keeps the business going **if only because** she can't bear the thought of her town folding up. (自分の町がなくなという考えに耐えかねてという理由でしかなくても、彼女は商売を続けている) (*Society: The Basics, 8th ed.*, 2006: 418)

- (2) When the campaign opened, it was not immediately obvious which particular issues the parties would choose to stress ; but by the middle of the campaign it was clear that the Conservatives were focusing on defence issues where their policy was so much more popular than Labour's, *if only because* it seemed so much simpler to explain. (しかし、選挙運動の中盤までには保守党は、単にたぶん説明しやすいだろうという理由でしかなくても、労働党よりもはるかに政策の受けのよい、防衛問題に明らかに焦点をあてるようになっていた。)
- (3) Chocolate is a most romantic food *if only because*, as a woman, one expects to be showered with delicious boxes of confectionery at every possible moment (husbands and lovers, take note) . (女性としては、機会あるごとに美味しいお菓子の箱を浴びるほどもらえるだろうと思うからだけでも、チョコレートは大変ロマンチックな食べ物である。)
- (4) They are worth mentioning here *only because* they are interesting.
- (5) I came here *only because* I was so worried for my little son.

## 引用文献

- 梅咲敦子 (2005) 「英語の授業におけるコーパスの利用」『立命館言語文化研究』16 (4), 115-145.
- (2006) 「コーパスに見る英語の世界」(高大連携プログラム：兵庫県立宝塚西高等学校LAC特別講座ハンドアウトA, B).
- (2007) 「英語発見学習のためのコーパス」『立命館言語文化研究』18 (4), 115-145.